



平成 21 年 1 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 20 年 6 月 10 日

上場会社名 株式会社きんえい

上場取引所 大証第二部

コード番号 9636

URL <http://www.kin-ei.co.jp>

代 表 者 （役職名）取締役社長 （氏名）山内 秀茂

問合せ先責任者 （役職名）経理部長 （氏名）若井 敬

T E L (06) 6632-4553

（百万円未満切捨て）

1. 平成 21 年 1 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 20 年 2 月 1 日～平成 20 年 4 月 30 日）

（1）経営成績

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21 年 1 月期第 1 四半期	930	△2.1	48	△19.8	51	△3.0	30	28.2
20 年 1 月期第 1 四半期	950	△8.4	61	△35.7	53	△38.0	23	△44.1
20 年 1 月期	3,873	—	242	—	224	—	104	—

	1 株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
21 年 1 月期第 1 四半期	1.08	—
20 年 1 月期第 1 四半期	0.84	—
20 年 1 月期	3.74	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21 年 1 月期第 1 四半期	6,616	1,821	27.5	65.13
20 年 1 月期第 1 四半期	6,894	1,778	25.8	63.52
20 年 1 月期	6,882	1,848	26.9	66.07

2. 平成 21 年 1 月期の業績予想（平成 20 年 2 月 1 日～平成 21 年 1 月 31 日） 【参考】

（％表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
中間期	1,980	0.6	70	△46.6	70	△39.1	30	△50.1	1.07
通期	3,900	0.7	170	△30.0	180	△19.7	80	△23.6	2.86

3. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、3 ページ「【定性的情報・財務諸表等】 4. その他」をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第 1 四半期のおが国経済は、これまで好調とされてきた企業収益が石油製品や原材料価格の高騰等により減速に転じており、また個人消費についても食料品などの価格上昇に加え、株式市場の低迷など将来に対する不安要因が払拭できないこともあって、消費者マインドは悪化する傾向下で推移いたしました。

この間当社は、劇場部門において本年 1 月にチケット予約・発売システムの改良を実施し、お客様がインターネットを利用して任意の座席を予めご指定して予約または購入いただける「ピンポイントシステム」を導入するなど、全事業に亘って顧客満足度のより高いサービスの提供に努めるとともに、ビル賃貸部門において、アポロビル内のアポロホールの営業を 4 月 27 日限りで廃止し、賃貸床への転用に着手するなど、部門別収支の管理を徹底し、集客と収入の確保に取り組んでまいりました。

事業別では、劇場部門は、「ライラの冒険」「ドラえもん」「L change the World」「魔法にかけられて」などの話題作品を上映して観客誘致に努めましたが、特に洋画において集客力のある作品が少なかったことに加え、3 月に当社事業エリア近隣であります堺市・鳳において新たにシネマコンプレックスが開業された影響等もあって、売上高は前年同期に比し 6.5%減の 268 百万円となりました。

ビル賃貸部門では、テナント入居率の維持向上に努めるとともに、アポロビル・ルシアスビル一体となった販売促進活動を積極的に展開するなど集客に注力した結果、ガソリン価格の高騰に伴う駐車場収入の減収等を差し引き、売上高は前年同期に比し 0.4%増の 520 百万円となりました。

娯楽場等部門の売上高は 141 百万円で、お客様の減少傾向がほぼ一巡した結果、前年同期に比し 2.4%の減収にとどまりました。

以上の結果、売上高合計では前年同期に比し 2.1%減の 930 百万円となり、一方、費用の面においては、劇場部門をはじめ諸経費全般について削減に努めましたが、税制改正に伴う減価償却費の増加等もあり、営業利益は 48 百万円 (前年同期比 19.8%減)、経常利益は 51 百万円 (前年同期比 3.0%減) となり、また四半期純利益は、特別損失の減少により、前年同期に比し 28.2%増の 30 百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第 1 四半期末の総資産は前年同期末に比べ 278 百万円減少し、6,616 百万円となりました。これは主に減価償却に伴い有形固定資産が 245 百万円減少したことによるものであります。負債は前年同期末に比べ 321 百万円減少し、4,794 百万円となりました。これは長期借入金返済により 235 百万円減少したこと等によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成 21 年 1 月期の中間期および通期の業績予想につきましては、平成 20 年 3 月 10 日の決算発表時に公表いたしました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

一部の引当金の計上基準については簡便な手続きによっております。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：千円、%)

科 目	期 別	前年同四半期	当四半期	増 減		(参考)
		〔平成20年1月期〕 〔第1四半期末〕	〔平成21年1月期〕 〔第1四半期末〕	金 額	増減率	前期末 (平成20年1月期)
		金 額	金 額	金 額		金 額
(資産の部)						
I	流動資産					
1	現金及び預金	329,774	234,930	△94,844		295,959
2	売掛金	85,660	84,672	△987		89,521
3	その他	90,867	122,402	31,535		265,821
	流動資産合計	506,302	442,006	△64,296	△12.7	651,302
II	固定資産					
	(1) 有形固定資産					
1	建物	2,336,883	2,165,673	△171,210		2,203,260
2	機械及び設備	1,354,980	1,380,075	25,095		1,424,825
3	土地	1,011,936	1,011,936	0		1,011,936
4	その他	376,480	277,278	△99,202		278,122
	有形固定資産合計	5,080,280	4,834,962	△245,317	△4.8	4,918,144
	(2) 無形固定資産	47,916	51,647	3,730	7.8	55,088
	(3) 投資その他の資産					
1	差入保証金	1,225,500	1,254,740	29,240		1,225,540
2	その他	34,557	33,111	△1,446		32,182
	投資その他の資産合計	1,260,057	1,287,851	27,793	2.2	1,257,722
	固定資産合計	6,388,253	6,174,461	△213,792	△3.3	6,230,955
	資産合計	6,894,556	6,616,467	△278,089	△4.0	6,882,257
(負債の部)						
I	流動負債					
1	買掛金	103,596	102,876	△720		108,453
2	短期借入金	100,000	100,000	0		—
3	1年以内に返済予定の 長期借入金	435,920	668,920	233,000		868,920
4	その他	575,458	508,002	△67,455		809,412
	流動負債合計	1,214,974	1,379,798	164,823	13.6	1,786,785
II	固定負債					
1	長期借入金	1,610,480	1,141,560	△468,920		977,020
2	退職給付引当金	121,283	109,755	△11,528		122,680
3	受入保証金	1,926,947	1,925,280	△1,666		1,903,295
4	その他	242,272	238,294	△3,977		243,926
	固定負債合計	3,900,983	3,414,890	△486,092	△12.5	3,246,922
	負債合計	5,115,958	4,794,689	△321,268	△6.3	5,033,708

(単位：千円、%)

科 目	期 別	前年同四半期 〔平成20年1月期〕 〔第1四半期末〕	当四半期 〔平成21年1月期〕 〔第1四半期末〕	増 減		(参考) 前期末 (平成20年1月期)
		金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(純資産の部)						
I 株主資本						
(1) 資本金		564,200	564,200	0	0.0	564,200
(2) 資本剰余金		24,155	24,155	0	0.0	24,155
(3) 利益剰余金		1,260,361	1,315,767	55,406	4.4	1,341,446
(4) 自己株式		△75,874	△86,598	△10,723	△14.1	△84,396
株主資本合計		1,772,842	1,817,524	44,682	2.5	1,845,406
II 評価・換算差額等						
(1) その他有価証券 評価差額金		5,755	4,253	△1,502	△26.1	3,141
評価・換算差額等合計		5,755	4,253	△1,502	△26.1	3,141
純資産合計		1,778,597	1,821,777	43,179	2.4	1,848,548
負債・純資産合計		6,894,556	6,616,467	△278,089	△4.0	6,882,257

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位:千円、%)

科 目	期 別	前年同四半期	当四半期	増 減		(参考)
		〔平成20年1月期〕 第1四半期	〔平成21年1月期〕 第1四半期	金 額	増減率	前期 (平成20年1月期)
		金 額	金 額	金 額		金 額
I	売上高	950,413	930,422	△19,990	△2.1	3,873,937
II	営業原価	808,002	806,641	△1,360	△0.2	3,312,565
	営業総利益	142,410	123,781	△18,629	△13.1	561,372
III	一般管理費	81,408	74,834	△6,573	△8.1	318,609
	営業利益	61,002	48,946	△12,055	△19.8	242,762
IV	営業外収益	615	10,048	9,432	—	15,266
V	営業外費用	8,585	7,571	△1,014	△11.8	33,784
	経常利益	53,031	51,422	△1,608	△3.0	224,243
VI	特別利益	—	—	—	—	12,966
VII	特別損失	12,843	95	△12,747	△99.3	64,478
	税引前四半期(当期) 純利益	40,188	51,327	11,138	27.7	172,732
	法人税、住民税及び事業税	25,000	15,500	△9,500	△38.0	144,000
	法人税等調整額	△8,420	5,552	13,972	—	△75,960
	四半期(当期)純利益	23,608	30,274	6,666	28.2	104,693